

情報発信 2

～可視化した時系列データの公開～

A-PLAT CLIMATE CHANGE
ADAPTATION
INFORMATION
PLATFORM

気候変動適応情報プラットフォーム



目次

第 1 章 はじめに.....	3
当資料の位置付け	4
WebApplicationBuilderについて	4
第 2 章 Webアプリの作成.....	5
ステップ1 : Web AppBuilder の起動	6
ステップ2 : テーマの選択	7
ステップ3 : マップの選択	9
ステップ4 : ウィジェットの追加.....	9
第 3 章 Webアプリの公開.....	15



第 1 章 はじめに

当資料の位置付け

ここでは、ArcGIS Web AppBuilderというアプリケーションを用いて可視化した時系列データを情報発信するための操作手順を記載します。



Web AppBuilder を使用するには、Creator または GIS Professional ユーザー タイプと、ArcGIS 組織でアプリを作成する権限が必要です。

WebAppBuilderについて

ArcGIS Web AppBuilderは、コーディング不要でアプリを直感的に作成することができます。豊富なデザインテーマと各種機能を持つウィジェットを組み合わせ、2Dおよび3DのWebアプリを作成できます。

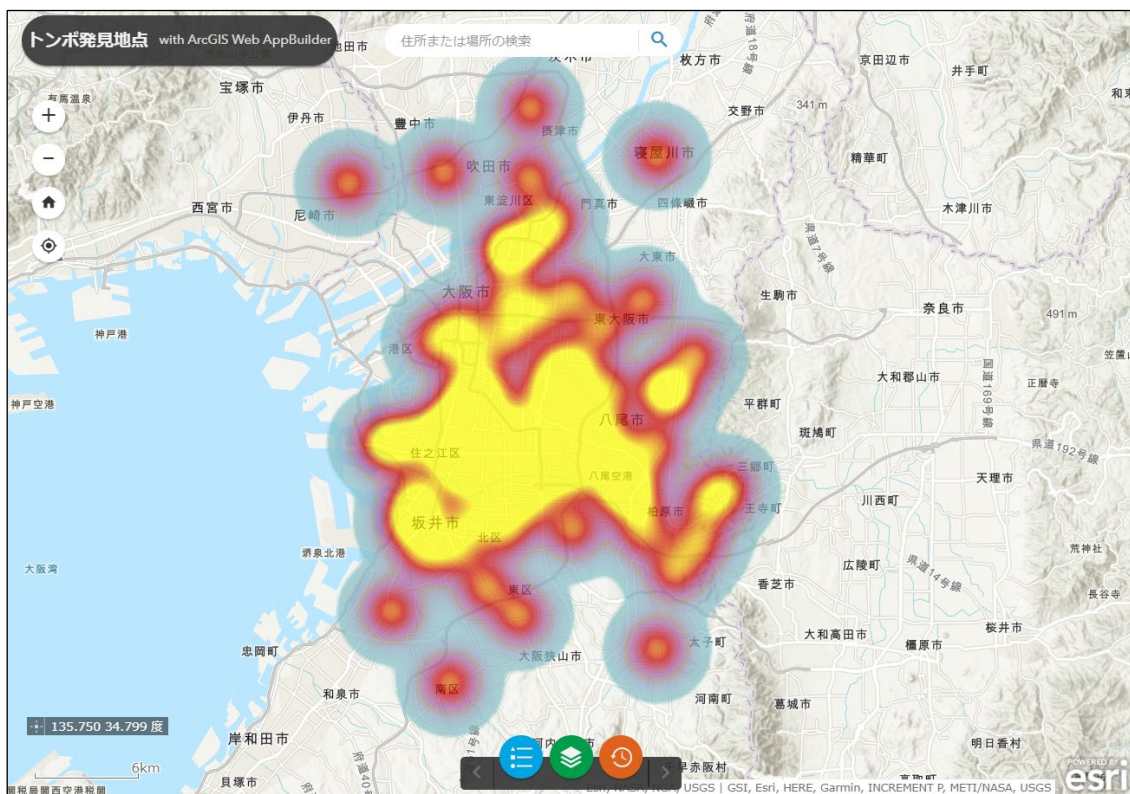


図 1

(本資料で作成するアプリケーションの完成イメージ)



第 2 章 Webアプリの作成

ステップ1 : Web AppBuilder の起動

- ① [コンテンツ]ページの[マイコンテンツ]から、Webマップ（ここでは「状況認識～GISを用いた時系列データの可視化～」の手順書で作成したWebマップを選択）をクリックします。
- ② Webマップの[概要]ページが開きます。[概要]ページ右側にある[Webアプリの作成]をクリックします。続いて[Web AppBuilder]をクリックします。

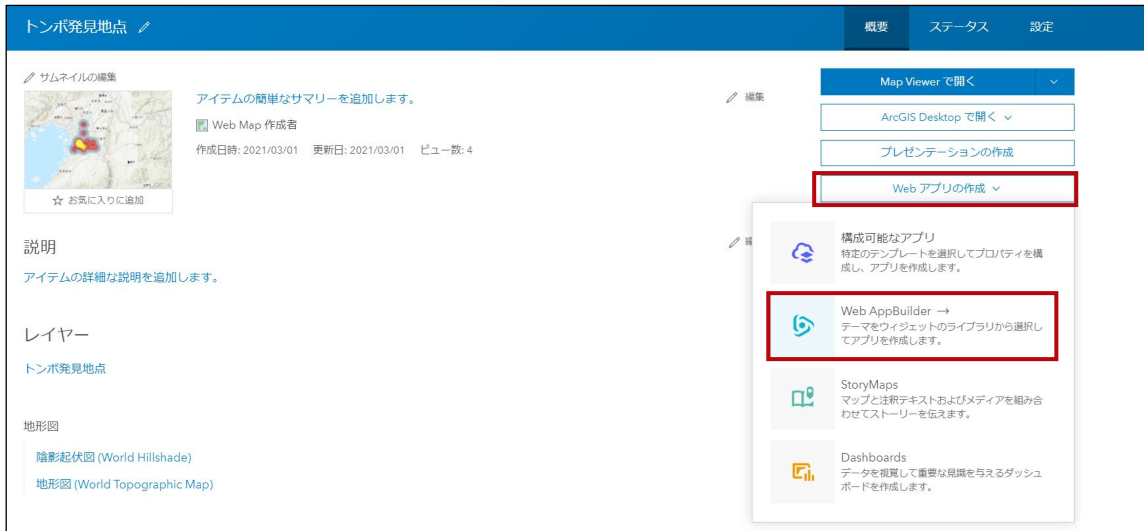


図 2

- ③ タイトル/タグ/保存先を記入・設定し、[OK]をクリックします。

新しい Web アプリの作成

新しい Web マッピング アプリケーションのタイトル、タグ、サマリーを指定します。

タイトル:

タグ:

タグの追加

サマリー: (オプション)

カテゴリ:

フォルダーに保存:

図 3

- ④ Web AppBuilder が起動します。



Web AppBuilder には構成可能なテーマに基づくアプリの外観や、様々な種類のウィジェットが用意されています。

以下、ステップ 2 から、アプリの構成を行っていきます。主な手順は以下の通りです。

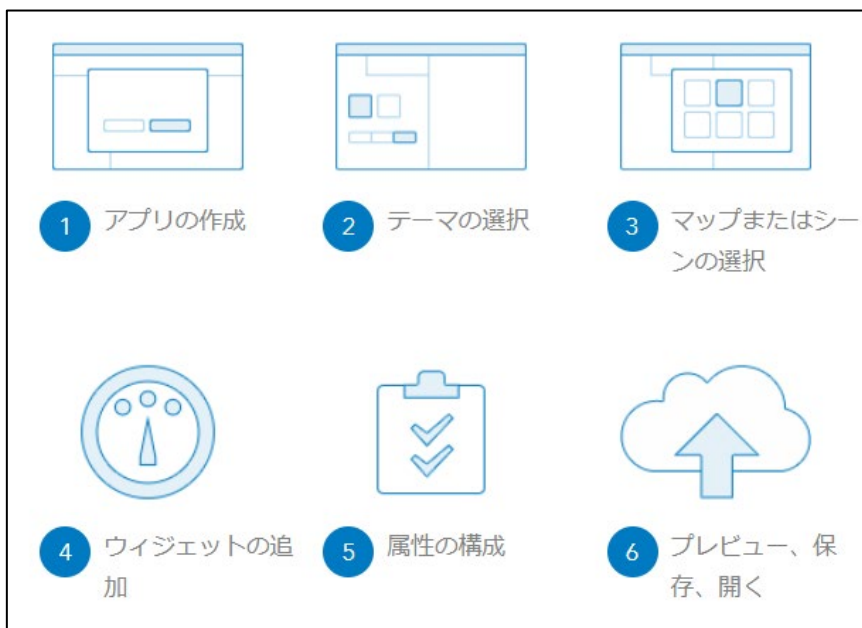


図 4

ステップ2：テーマの選択

- ① アプリの外観と操作性を表すフレームワークである[テーマ]を選択します。10個のテーマから1つ選択します。ウィジェットの位置は、各テーマによって異なります。



10個のテーマの概要は「ArcGIS Web AppBuilderヘルプ」の「アプリ構成」をご確認ください。
<https://doc.arcgis.com/ja/web-appbuilder/create-apps/themes-tab.htm>

今回は「ローンチパッドテーマ」を選択します。「ローンチパッドテーマ」では、ウィジェット コントローラー（図7）が画面下部に配置されます。



図 5

② スタイルやレイアウト(ユーザー インターフェイス アイテムの配置)も併せて選択します。

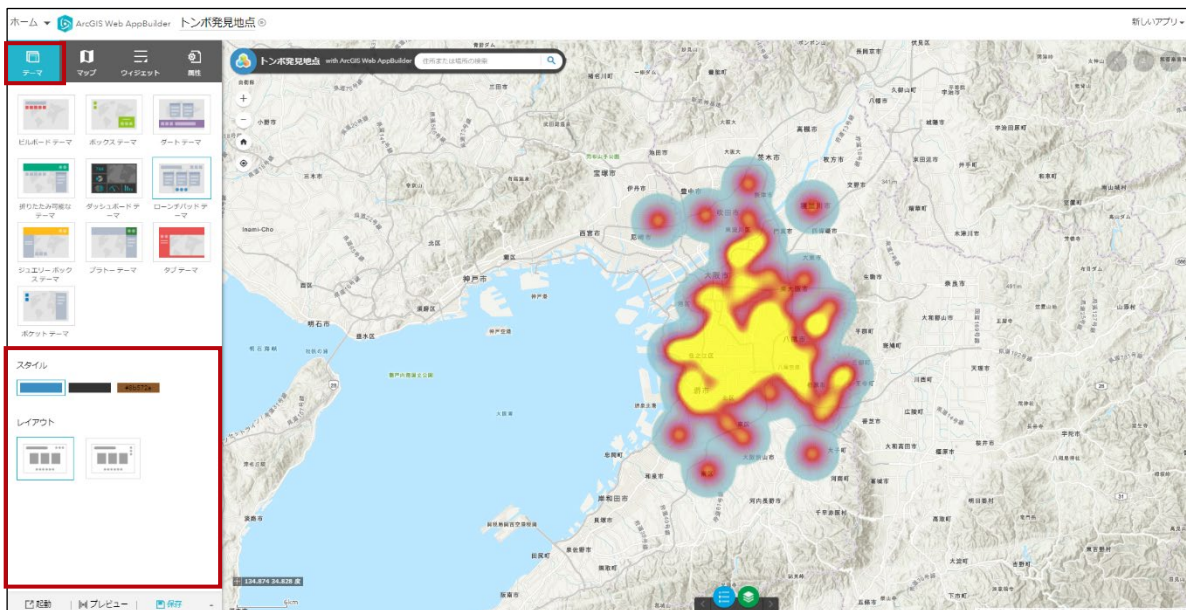


図 6

ステップ3 : マップの選択

- ① [テーマ]の設定が完了したら、[マップ]をクリックします。Webマップを変更したい場合は、[Webマップの選択]をクリックし、マイコンテンツにある他のWebマップと変更します。
- ② [初期範囲の設定]セクションでは、アプリケーション起動時の初期範囲を指定します。現在表示されているマップから設定、またはWebマップのデフォルト範囲を指定することができます。
この手順書では [現在のマップビューを使用]をクリックします。

ステップ4 : ウィジェットの追加

- ① [マップ]の選択が完了したら、[ウィジェット]をクリックします。[ウィジェット] タブを使用すると、アプリの機能を構成できます。この手順書で使用するウィジェットは[タイムスライダー]のみですが、他のウィジェット等もぜひお試しください。

[ウィジェット]には、パネル外ウィジェットとパネル内ウィジェットがあります。

パネル外ウィジェット

パネル外ウィジェットは、パネル内にはないウィジェットです。オン/オフが可能で、コントローラーに追加できます。テーマに埋め込まれたパネル外ウィジェットは、[ウィジェット] タブが有効になっている場合にのみ表示されます。

パネル内ウィジェット

パネル内ウィジェットはウィジェット コントローラーで使用可能であり、アプリに追加できます。デフォルトでは、コントローラーに格納されています。選択したテーマに応じて、折りたたみ可能なテーマでヘッダー構成のアプリの右上隅に表示されるか、タブ テーマでサイドバー構成のアプリの左側に表示されます。



ウィジェットの最初のセットやウィジェットの配置位置は、各テーマによって異なります。図7は一例です。

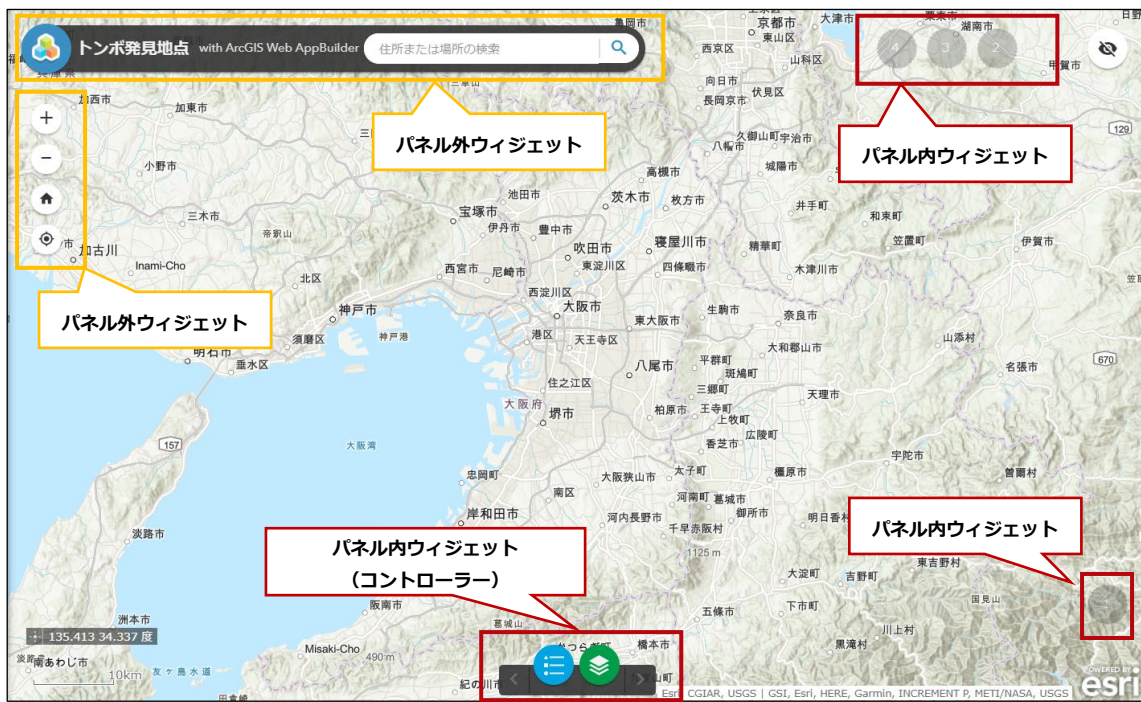


図 7


- ② [タイムスライダー]ウィジェットを追加します。今回追加するウィジェットは1点のみなので、画面下部  に配置します。
- ③ [このコントローラーにウィジェットを設定]をクリックします。



図 8

- ④ [ウィジェットの追加]  をクリックします。

- ⑤ [ウィジェットの選択]から、[タイムスライダー]をクリックし、[OK]をクリックします。

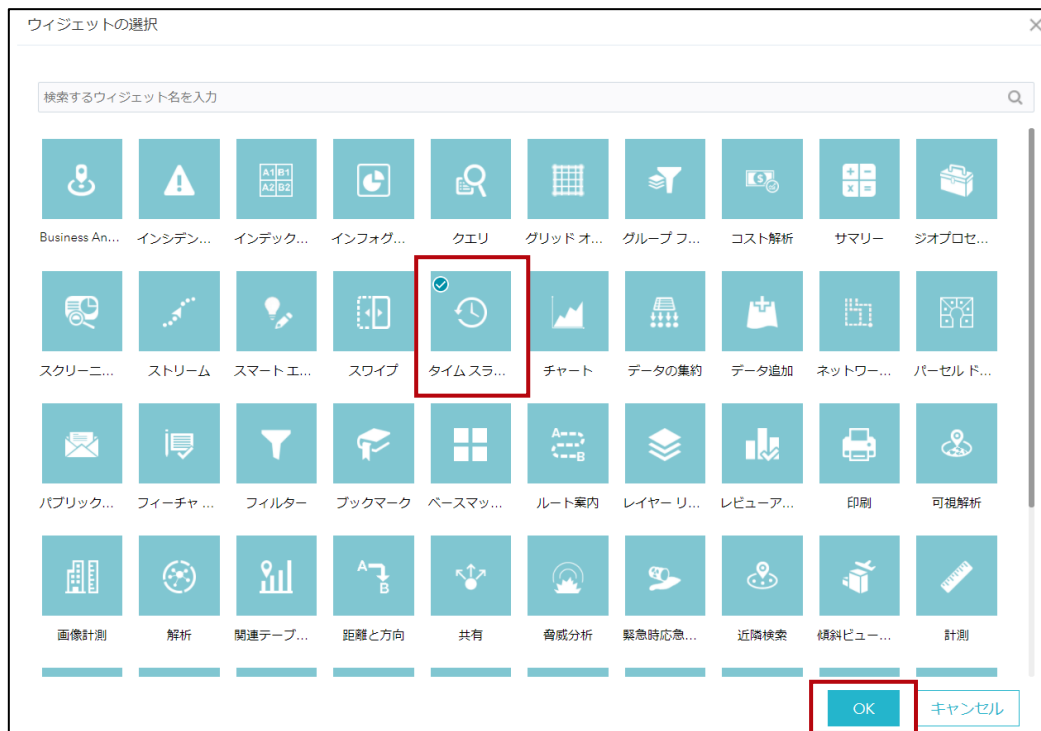


図 9

- ⑥ タイムスライダーの構成画面が開きます。時間設定とスライダー設定を行います。今回は [Web マップの時間設定の適用] にチェックを入れ、[スライダーを自動再生] のチェックを外します。次に [OK] をクリックします。



図 10

- ⑦ マップにタイムスライダーのウィジェットが追加されていることを確認します。
 タイムスライダーを示すアイコン  をクリックすると、パネルが開きます。

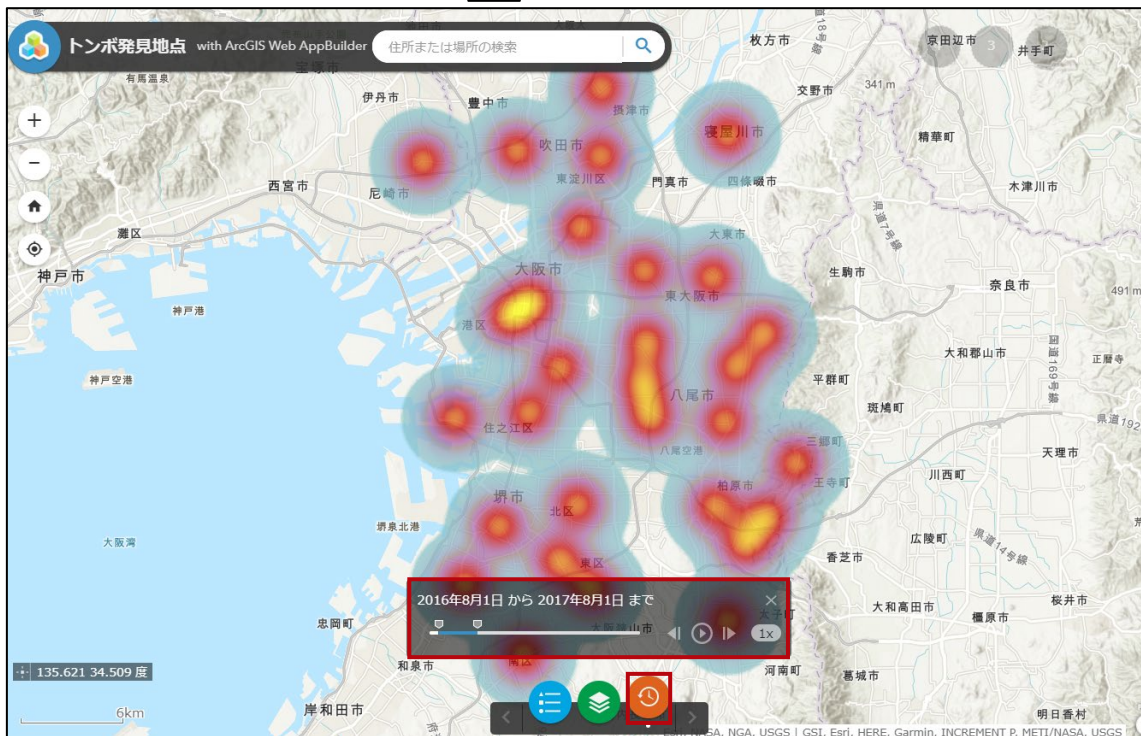


図 11


- ⑧ ウィジェットの設定を編集したい場合は、対象のウィジェットアイコンにカーソルを合わせると表示される  をクリックします。すると、⑥で設定した構成画面が開き、内容を変更することができます。他のウィジェットでも同様です。



図 12


- ⑨ ウィジェットを非表示にしたい場合は、対象のウィジェットアイコンにカーソルを合わせると表示される  をクリックすると、ウィジェットが非表示になります。今回は概観図を非表示にします。



図 13

- ⑩ アプリケーションのロゴ/タイトルを変更したい場合や、リンクの追加を行う場合は、[属性] をクリックします。

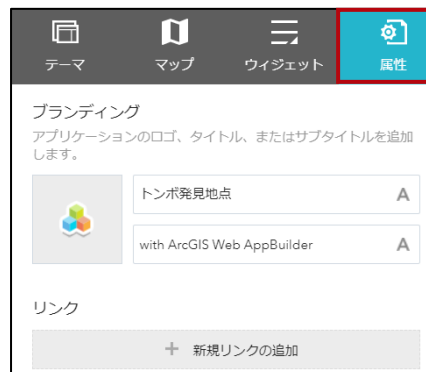





図 14

- ⑪ [保存]  保存 をクリックして、一連の作業結果を保存します。これでアプリの設定が完了です。

- ⑫ 最後に作成したアプリを確認します。[起動]  をクリックすると、アプリを確認することができます。また、[プレビュー]  をクリックすると、一般的なデバイスの画面サイズに応じてアプリをプレビューできます。

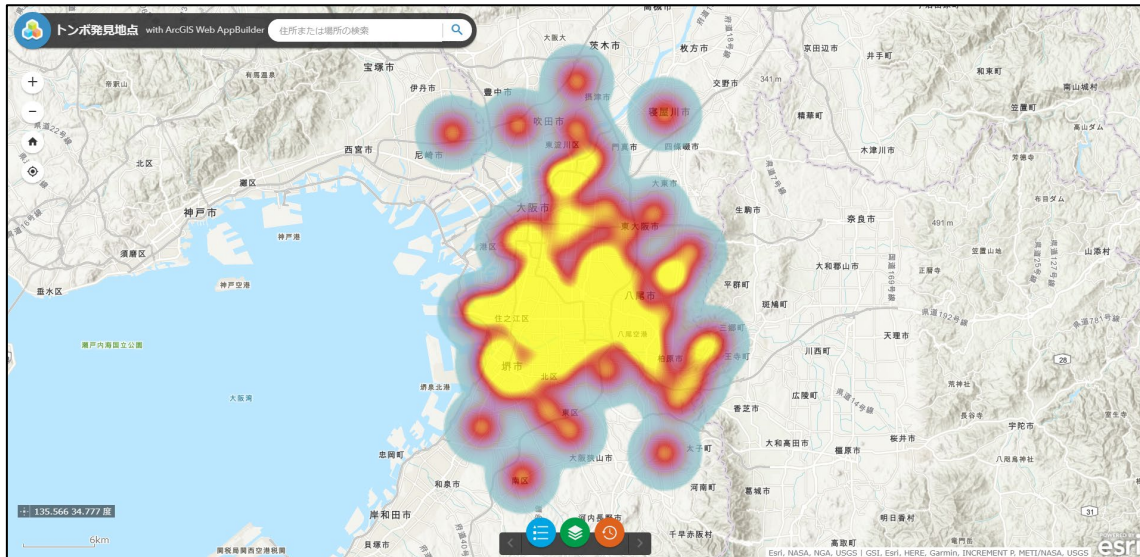


図 15

作成したアプリは、[マイコンテンツ]に保存されます。



図 16



第 3 章 Webアプリの公開

- ① [マイコンテンツ]から前ステップで作成したアプリをクリックします。



図 17

- ② アプリの[概要]ページが開きます。[概要]ページの右下にある[共有]の[編集]をクリックします。




図 18


- ③ [共有]ウィンドウが開きます。[共有レベルの設定]では、「組織」、「すべての人に公開 (パブリック)」、「グループ共有の設定」を選択することができます。また、組織、グループ、すべてのユーザーを組み合わせてアイテムを共有することもできます。[所有者]にチェックを入れていると、アイテムを確認できるのは所有者のみ(組織や一般には非公開)となります。デフォルトでは[所有者]となっています。




図 19

「すべての人に公開（パブリック）」は、ArcGIS Online を訪れたすべての人（匿名ユーザーを含む）が、そのアイテムにアクセスして表示することができます

 Web アプリを共有する場合、参照している Web マップやレイヤーも同じ共有範囲である必要があります。[共有]ウィンドウで共有先にチェックを入れ[保存]をクリックすると、[共有の更新]ウィンドウが開きます。ウィンドウ内のアイテムを確認し[更新]をクリックすることで、参照先のレイヤー等も同時に共有設定を更新することができます。



- ④ [共有の更新]で[更新]をクリックすると、[概要]ページの右下にある[共有]のアイコンが、へ変更されます。

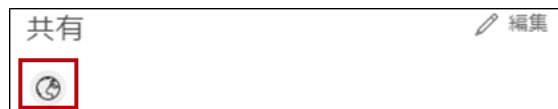



図 20

 マイコンテンツ内にある特定のアイテムの共有設定を変更したい場合は、共有範囲のアイコンをクリックすることで変更できます。

<input type="checkbox"/>	 トンボ発見地点	Web Mapping Application	
<input type="checkbox"/>	 トンボ発見地点	Feature Layer (ホスト)	

- ⑤ 共有設定後、[マイコンテンツ]で各アイテムの共有設定を確認します。



共有設定についての詳細は、「ArcGIS Online 逆引きガイド」のp94～p104をご確認ください。
https://www.esri.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/ArcGISOnline_user_guide.pdf

以上

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。

必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2021年3月31日 第1版発行

© National Institute for Environmental Studies. 2021